

【令和3年度第2回伊吹山を守る自然再生協議会】

議事録概要

■日 時 令和4年3月22日（火）10時00分～12時00分

■会 場 米原市役所本庁舎3階 3DE会議室

■出席者（敬称略）

出席：25人（うち代理出席7人、ZOOM出席8人）

伊吹山もりびとの会（西澤）、伊吹山ネイチャーネットワーク（代理：山下）、ユウスゲと貴重植物を守り育てる会（高橋滝）、びわ湖の素DMO（日向）、日本自動車道（水谷）、滋賀鉱産（代理：柴田、南浮[ZOOM]）、近江鉱業（代理：澤口）、環境省近畿地方環境事務所野生生物課（平井[ZOOM]）、岐阜県環境企画課（代理：正村、日下部[ZOOM]）、岐阜県揖斐県事務所環境課（早田[ZOOM]）、揖斐川町商工観光課（高橋[ZOOM]）、関ヶ原町地域振興課（難波）米原市自治協働課（西出）、米原市まち保全課（代理：徳田）、米原市シティセールス課（坂）、米原市生涯学習課（代理：高橋）、米原市地域振興課（代理：川西）、滋賀県文化材保護課（代理：大崎）滋賀県琵琶湖環境部（林）、滋賀県自然環境保全課（矢野）、滋賀県湖北環境事務所（内藤）、須藤顧問[ZOOM]、高柳顧問[ZOOM]、嵯峨顧問[ZOOM]、柴田委員

オブザーバー 長浜土木事務所道路計画課（川瀬）、米原市建設課（高橋）

欠席：8人

上野区（高橋兵）、伊吹山観光振興会（寺村）、山頂山小屋組合（松井）、文化庁文化財部記念物課（田中）、長浜市都市計画課（井口）、野間顧問

■議事進行 会長：林（滋賀県琵琶湖環境部次長）

[凡 例] 会長◆ 委員○ 事務局等●

■議事要旨

協議事項

（1）委員就任について（資料1-1、1-2）

- ・青木繁氏、柳沢直氏の委員就任について、伊吹山ネイチャーネットワークおよび事務局から説明を行った。

報告事項

（1）令和4年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について

（資料2-1、2-2、2-3）

- ・令和4年度伊吹山入山協力金事業計画書について、事務局より説明を行った。

（2）各団体保護活動について（資料3-1、3-2、3-3）

- ・伊吹山もりびとの会、伊吹山ネイチャーネットワークおよびユウスゲと貴重植物を守

り育てる会より活動の説明が行われた。

その他

- ・山と溪谷社から「日本山岳遺産の横顔」という連載記事の取材があり、3月15日に発売された「山と溪谷」4月号に掲載された。

■議事録

協議事項

(1) 委員就任について

○協議会のどの所属になるのか。

- 2名とも学識経験者として就任される。

反対意見なしであり協議会の同意があったものと認めた。

報告事項

(1) 令和4年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について

○①お花畑維持管理事業の中のシカ捕獲について、何頭程度想定しているのか。②現在登録ボランティアは何人か。将来レンジャーを設けることを目標にしているが何名程度考えているか。③顧問は何名か。

- ①追い出しの実績は10頭程度であったが、柵の中には40~50頭生息していると思われる。1回10頭以上、なるべく多くの捕獲を目指したい。②ボランティアは8名程度いるが、常に参加されるのは4~5名程度である。将来的には10名程度いけばうまく回ると思われるが、まずは5名程度を目標に検討したい。③顧問は現在4名で今回1名追加となるため、合計5名となる。

○秋の捕獲は安全面、シカの状況を検討の上実施するかどうか決めるべき。春の捕獲結果を検証してから考える必要がある。レンジャーの件は、市長の対談で若い世代が積極的に関心を持ち、将来的にボランティアをまとめながら維持管理を行う役目を担ってほしいと話が出た。今後10年もすると現在のメンバーが高齢化するため若い世代への引き継ぎが重要。今後市で検討してほしい。

○シカの捕獲は2回とあるが、2日間ということが良いか。

- 1回1日、合計2日間である。まず春に1回実施しその効果を見極めたうえで、もう1回実施するか検討したい。

○シカ捕獲で特に天然記念物(カモシカ、イヌワシ等)への配慮をきっちりしてほしい。可能であれば事業の具体的な計画を拝見したい。また安全管理の徹底(通行規制等)をしっかりした上で実施するようにしてほしい。職員がきちんと監督するようにしてほしい。

- 参考にする。あらためて相談する。

○新事業の岐阜県側での貴重植物の保護対策については、岐阜県側の関係者としてとても有り難い。笹又登山道の管理者は揖斐川町商工観光課であるが、実際の草刈りや道の確認等の作業は地元団体の「古谷笹又集落協定協議会」が行っている。現地確認や設置

作業にあたっては、この事業を契機に地元の揖斐川町や関係団体にも声掛けし、伊吹山に関心を持ってもらい、滋賀県と連携した活動に参加してもらうようにプロセスを工夫してほしい。

●岐阜県とも協議をさせていただいているが、さらに連携して進めていきたい。

○4月16日に下見に行く予定。最初から関係団体の参加をお願いしたい。地域の方に興味を持ってもらうことが重要である。今後の柵の維持管理の話もあり、多くの関係者に関わっていただくことが大切。関係者全員が本気で関わっていくことが必要。

○4月16日の件は私からも伝えるが、事務局からも連絡してほしい。

○伊吹山ドライブウェイは4月16日がオープン予定であるが、豪雪により除雪作業が難航しており、4月29日(金)に全線オープンを目指し除雪作業を実施している。必要であればオープン前でも通行の許可をするので相談してほしい。春の捕獲の日が決まれば、当社のHPでも周知するのでスケジュール等が決まり次第速やかに連絡してほしい。

○春の捕獲は、開業以前に行わないと厳しい。安全対策として人が上がってこないうちに実施することが必須。市・県・猟友会で早めに日程調整してほしい。4月18日なら可能。下見の日(4月16日)が流動的になる可能性があるので、あらかじめ了承してほしい。

(2) 各団体保護活動について

①伊吹山もりびとの会による活動報告(資料3-1)

(特に質疑なし)

②伊吹山ネイチャーネットワークによる活動報告(資料3-2)

○希少種の写真GPSデータから盗掘の被害が増えているので、注意してもらいたい。

③ユウスゲと貴重植物を守り育てる会、NPO法人霊峰伊吹山の会による活動報告(資料3-3)

○裸地化した斜面は酷い状況であるため、できるところから新事業に着手し、検証を行い、検討しながら今後の事業を進めたい。

○山頂の雑木林ではシカが繁殖している。木だけでなく、笹藪を伐ることも必要であるが、自然環境を損なわないように進めてほしい。

○木だけでなく笹も専門家の意見を聞いた上で事業を進めていきたい。

◆ユウスゲと貴重植物を守り育てる会とNPO法人霊峰伊吹山の会は、現在のところ代表はどちらも高橋氏だが、別の団体であり、活動の内容やメンバーも異なるので、NPO法人霊峰伊吹山の会にも当協議会の委員に就任していただければどうか。

○ユウスゲと貴重植物を守り育てる会とNPO法人霊峰伊吹山の会は両方とも代表が高橋氏だが、補助金等を受給できる法人格を持つということで良いか。

○ユウスゲと貴重植物を守り育てる会は任意団体であり、今後事業等を行うためには、補助等の利用も必要になるため法人格を持つ団体としてNPO法人霊峰伊吹山の会を立ち上げた。今後は一番伊吹山にとって良い団体の在り方を検討していきたい。

◆規約上は「伊吹山に関わる保全再生活動団体」として就任することで異議等あるか。

反対意見なしであり協議会の同意があったものと認めた。

○山頂はシカの他にもノウサギの繁殖地となっていると思われる。丁寧な検証を行いながら事業を進めてほしい。

○専門家の意見を聞いた上で事業を進めていきたい。

○ノウサギも重要である、自動カメラ等も設置し、調査を進めてほしい。

◆本日オブザーバーとして長浜土木事務所および米原市建設課に出席いただき、意見ををお願いしたい。

・長浜土木事務所道路計画課

道路管理者として予算が厳しい中、市を通してNPO法人霊峰伊吹山の会に道路の補修等を依頼しており感謝している。引き続き協力をお願いしたい。

・米原市建設課

県道伊吹山上野線はシカの食害で非常に危険な状態であると地元から聞いている。建設業で土木工事を大規模に行ってしまうと自然環境への影響等もあるため、地元で継続的に維持できる体制を構築していきたいので協力をお願いしたい。

◆その他、意見、連絡事項等あればお願いしたい。

○登山道の東西の尾根に生えている木にネット張ることでシカの移動をかなり阻害できる。そのまま上の防護柵までつなげてしまえば、上のほうのシカの侵入を押さえられ、植生回復の可能性が高まるため、R4年度に5合目くらいまで低い杉を利用してネットを張る等、捕獲だけでも難しいので、検討していきたい。また、ノベルティに絵葉書もよいと思うので提案したい。

○シカの捕獲についても色々な関係団体が連携、情報交換して事業を進めていく必要があるが一元的にコーディネートするのは県で良いのか。

●入山協力金部会の事務局である市がコーディネートし、県とも協力しながら進めていく。

○前回も聞いたが、働きかけをしているが難しいことは承知しているが、3合目の廃屋・ゴンドラの撤去について経年劣化が進んでいる。どのあたりをメドに、最終的にどうするのかを考えながら継続的に取り組みを進めてほしい。協議会でもコンセンサス事項として取り上げてほしいので、年に1回は報告してほしい。3合目の眺望も良いので市のシティーセールス課の方で観光資源として戦略を持って利活用に取り組んでほしい。また滋賀産の緑化事業も報告を続けてほしい。

○(米原市シティーセールス課)伊吹山3合目も頂上と並んで良い景観であり、観光と自然

保全のバランスを考えながら内部協議を行い、市の資源としてPRしていきたい。

○最後に退任される委員からひと言いただきたい。

○3月末で定年により退官して岐阜県を離れることになったので退任の申し出をした。

先ほど職場の同僚の柳沢直先生を委員として承認していただいた。以前から旧春日村を中心に現場にも入り、植物生態に詳しい先生であるので、会のために力を発揮してくれるものと思う。これまでお世話になったことに対して御礼を申し上げる。

(皆の拍手)

◆事務局からは何かあるか。

●一点報告する。先日、山と溪谷社さんから「日本山岳遺産の横顔」という連載記事の取材があり、3月15日に発売された「山と溪谷」4月号に掲載されたので、機会があればお読みいただきたい(冊子を委員に回す)。

●今後も、本協議会や入山協力金部会の開催を予定している。構成員の方々には、その都度開催日程等を連絡するので、よろしく願いしたい。

◆これで終了とさせていただく。あらためて、退任される委員に御礼申し上げます。